阿南工業高等専門学校学寮規則

(昭和45年5月6日)

(規則第2号)

(目的)

第1条 学生の人間形成を助長し、かつ、学生の修学に便宜を供与するとともに、教育目的の達成に資することを目的として、本校に寄宿舎（以下「学寮」という。）を設ける。

(学寮生活の基本)

第2条 入寮中の学生（以下「寮生」という。）は、この規則及びこの規則に基づいて定められた諸規定を守り、相互に敬愛、啓発して共同生活の向上充実に努めるものとする。

(寮監、寮務主事補)

第3条 学寮には学則第9条に定める寮務主事のほか、寮監及び寮務主事補を置く。

2 寮監は、寮務主事の指示を受け、寮生の訓育指導及び生活相談に当たる。

3 寮務主事補は、寮務主事の指示を受け、これを補佐する。

(寮務委員会)

第4条 寮生の厚生補導及び学寮の管理運営に関する事項を審議するため、寮務委員会を置く。

2 寮務委員会に関する事項は、別に定める。

(寄宿料等)

第5条 寄宿料の額は、学則第39条に定める額とする。

2 寄宿料は、前期については4月末日までに、後期分については10月末日までに納付することができる。ただし、前期又は後期の途中で入寮した者に係る寄宿料は、月額に入寮を許可された月からその期の末までの月数に乗じて得た額を当該月の末日までに納付することができる。休業期間中の分は、休業期間前の別に定める日までに納付するものとする。

3 前項の規定にかかわらず、当該年度内に納付する寄宿料の額の総額を前納することができる。

4 前2項の規定により寄宿料を納付した者が、当該年度内に死亡により除籍された場合には、月割り計算により死亡届けのあった日の属する月の翌月以降の寄宿料相当額を還付するものとする。

5 寮生の生活上必要な経費で各人の負担すべきものは、別に定めるところにより納付するものとする。

6 寄宿料の免除については、独立行政法人国立高等専門学校機構における授業料、入学料及び寄宿料の免除及び徴収猶予に関する規則（令和2年5月19日独立行政法人国立高等専門学校機構規則第134号）及び独立行政法人国立高等専門学校機構における授業料等の免除及び徴収猶予取扱要領（平成28年3月7日理事長裁定）の定めるところによる。

(入寮)

第6条 学則第51条第2項本文に定める学生以外の者が、入寮を希望する場合には、入寮願（別紙様式1）を、寮務主事を経て校長に提出するものとする。

2 前項の入寮願を提出した学生の入寮は、寮務委員会の選考に基づいて校長が許可する。

この場合の入寮期日は、原則として4月と10月の年2回とする。

- 3 学則第51条第2項本文に定める学生及び前項の規定により入寮を許可された者は、指定の期限までに寮務主事を経て校長に誓約書(別紙様式2)を提出しなければならない。

(退寮)

第7条 退寮を希望する者は、退寮を希望する日の2週間前までに、退寮願(別紙様式3)を、寮務主事を経て校長に提出し、その許可を得るものとする。

- 2 退寮を許可された者は、退寮時に居室その他の居室に附属する設備等について、本人立会いの上、関係職員の検査を受けなければならない。

- 3 退寮した者は、原則として退寮日から1年以内の再入寮は許可しない。

(在寮免除)

第7条の2 学則第51条第2項ただし書きにより在寮の免除(以下「在寮免除」という。)を希望する者は、在寮免除を希望する日の2週間前までに、在寮免除願(別紙様式3-2)を、寮務主事を経て校長に提出し、その許可を得るものとする。

- 2 前条第2項及び第3項の規定は、在寮免除を許可された者について準用する。

(退寮処分)

第8条 寮生が次の各号の一に該当するときは、校長は、退寮を命ずることがある。

- (1) 第5条に定める諸納金を3ヶ月にわたって納付しないとき。
- (2) 風紀を乱す行為があったとき。
- (3) 共同生活の秩序を乱す行為があったとき。
- (4) 疾病その他保健衛生上共同生活に適さない者と認められたとき。
- (5) 停学を命ぜられたとき。
- (6) その他学寮の管理運営上重大な支障となる行為があったとき。

- 2 第7条の規定は、退寮を命ぜられた者について準用する。

(共同生活の自治)

第9条 寮生は、校長の承認を得て、学寮における共同生活を自律的に運営するための組織を設けることができる。

- 2 前項の組織及びその活動は、寮生相互の個人生活をおかすことなく、かつ、学生準則並びにこの規則に違反してはならない。

- 3 第1項の組織を設けようとする場合は、結成願を寮務主事を経て校長に提出するものとする。この場合において、補導上必要があると認められたときは、寮務主事は学生主事と協議するものとする。

- 4 前項の結成願には、下記事項を記載するものとする。

- (1) 名称
- (2) 目的
- (3) 組織
- (4) 規約

- 5 第1項の組織が、その目的を逸脱した場合又は第2項の規定に違反した場合は、校長は、これを解散させることができる。

(施設保全の義務)

第10条 寮生は、居室、共同施設その他学寮の施設を常に正常な状態で保全することに努

めるとともに、次の各号に違反してはならない。

- (1) 居室を居室以外の目的で使用しないこと。
- (2) 居室に寮生以外の者を宿泊させないこと。
- (3) 居室に関係者の許可なく工作を加えないこと。
- (4) 学寮内外に寮務主事の許可なく掲示等をしないこと。

(弁償責任)

第11条 故意又は重大な過失により施設、設備等を滅失、き損又は汚染したときは、その現状回復に必要な経費を弁償させることがある。

(防災安全)

第12条 寮生は、火災その他の災害防止について常時注意するとともに、学校の行う防災訓練その他の行事について、協力しなければならない。

2 火気の使用は、指定の場所以外ではしてはならない。

3 寮生は、災害又は事故の発生を知った場合は、直ちに学生課寮務係又は関係教員にその旨を報告し、その指示に従って行動しなければならない。

(保健衛生)

第13条 寮生は、各自健康の維持及び増進に留意するとともに、学寮内を清潔に保つよう努めなければならない。

2 寮生は、伝染病発生その他の事情により必要があるときは、健康診断及び予防接種を受けなければならない。

3 病気に罹った者は、直ちに届け出て、医師の診察を受けなければならない。

(行事集会)

第14条 寮生が行事集会をしようとする場合は、あらかじめ寮務主事に学寮行事集会許可願(別紙様式4)を提出して、その許可を受けなければならない。

(門限外の外出、外泊)

第15条 寮生は、門限までにやむを得ず帰寮できない場合は、宿日直教員又は学寮関係職員の前を許可を受けなければならない。

2 寮生は、外泊しようとする場合は、原則としてその3日前までに週末点呼簿に記入又は特別外泊願を寮務主事に提出して、その許可を受けなければならない。

(面会)

第16条 外来者との面会は、指定された場所で行わなければならない。

(雑則)

第17条 この規則の実施について必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この規則は、昭和45年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の日から阿南工業高等専門学校学生寮規則(昭和38年5月18日規則第3号)は、廃止する。

附 則

この規則は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、昭和49年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、昭和53年2月14日から施行し、昭和52年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、昭和56年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成2年11月7日から施行する。

附 則

この規則は、平成11年10月1日から施行し、平成11年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成17年6月15日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成18年4月4日から施行し、平成18年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成18年12月5日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年6月13日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成26年2月12日から施行し、平成25年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成31年2月13日から施行し、平成31年2月1日から適用する。

附 則

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和3年6月25日から施行する。

附 則

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和6年11月13日から施行し、令和6年4月1日から適用する。

様式1 (第6条関係)

入 寮 願

(和暦) 年 月 日

阿南工業高等専門学校長 殿

工学科・専攻 年 コース(組) 番

学籍番号

氏 名 (自署)

性 別 (男 ・ 女)

保護者等 氏 名 (自署)

学生との関係

住 所

下記により学寮に入寮したいので、御許可くださるようお願いします。

記

1 入寮を必要とする理由

2 入 寮 予 定 日 (和暦) 年 月 日

※別紙「通学経路申告書」を添付。

様式2（第6条関係）

入 寮 誓 約 書

阿南工業高等専門学校長 殿

貴校学生寮に入寮の上は学則及び学生寮の諸規則が在寮中は適用されることについて同意し、諸規則を遵守することを誓います。

（和暦） 年 月 日

阿南工業高等専門学校

工学科・専攻 年 コース（組） 番

学籍番号

氏 名

（自署）

私は、「独立行政法人国立高等専門学校機構保護者等に関する取扱要項（令和3年2月18日理事長裁定）」に基づき、上記の者が貴校の学生寮に在寮中における行為について、学則及び学生寮の諸規則を遵守するよう指導・監督する責任を負うことを誓約します。

なお、記載事項に変更が生じたときは、すみやかに本書を再提出いたします。

保護者等 氏 名

（自署）

学生との関係

住 所

緊急連絡先

保護者等とは、学生が教育研究活動を円滑に遂行していくうえで、学校と連携し、学生を指導、支援する立場にある者で、学生が未成年の場合においてはその親権者又は児童福祉法（昭和22年法律第164号）第6条、第6条の4及び第7条で定める学生を監護する者並びに監護する施設等の長とする。また、学生が成年の場合においては3親等以内の親族とする。要件に合った保護者等が選定できない場合は、独立の生計を営む成年者であり、学生の指導、支援への意向のある者とする。

様式3 (第7条関係)

退 寮 願

(和暦) 年 月 日

阿南工業高等専門学校長 殿

工学科・専攻 年 コース 番
号館 階 号室

(和暦) 年度入寮
学籍番号
氏 名 (自署)

保護者等 氏 名 (自署)
住 所

下記により退寮したいので、御許可くださるようお願いいたします。

記

1 退 寮 年 月 日 (和暦) 年 月 日

2 退 寮 理 由

3 退 寮 後 の 住 所

様方

電話：

様式 3 - 2 (第 7 条の 2 関係)

在 寮 免 除 願

(和暦) 年 月 日

阿南工業高等専門学校長 殿

工学科・専攻 年 コース(組) 番

号館 階 号室

学籍番号

氏 名 (自署)

保護者等 氏 名 (自署)

住 所

下記の理由により、在寮を免除して下さるよう保護者等連署をもってお願いします。

記

1 在寮免除を希望する理由

2 在寮免除期間 (和暦) 年 月 日から

(和暦) 年 月 日まで

3 在寮免除後の住所

様方 電話 _____

4 担任所見 担任氏名 (自署)

様式4 (第14条関係)

学 寮 行 事 集 会 許 可 願

(和暦) 年 月 日

阿南工業高等専門学校寮務主事 殿

願出責任者

工学科・専攻 年 コース(組) 番

号館 階 号室

学籍番号

氏 名

(電話番号:)

下記のとおり行事集会を開催したいので、御許可くださるようお願いいたします。

記

1 名 称 ・ 目 的

2 日 時 (和暦) 年 月 日 (曜日) 午前・午後 時 分から

(和暦) 年 月 日 (曜日) 午前・午後 時 分まで

3 場 所

4 参 加 者

5 そ の 他

(注) 行事集会開催日の1週間前までに寮務係に提出すること。

(注) コロナ対応の開催後、行事集会に参加した学生名簿を提出すること。